

授業科目名	卒業研究	担当教員名	江川 隆子 看護系教員									
期 間	後期	履 修 学 年	1	2	3	4						
単位数・時間	4単位・60時間					●						
授 業 形 態	演習		●－必修・○－選択									
授業の概要 学習目標	<p>[授業の概要] これまでの授業・演習・実習を通して興味・関心を抱いた看護上の問題や看護現象などから研究課題を明確にし、それを探求する看護研究過程を学ぶ。</p> <p>[学習目標] 1. 興味・関心を抱いた看護上の問題や看護現象などから研究課題を明確にする。 2. 研究課題に関連する論文の講読・論文のクリティークを行う。 3. 研究課題を探求するための研究計画書を作成する。</p>											
授業回数	授 業 の 内 容											
第1～15回	<p>以下の内容は、課題実習グループ単位で行うものである。ただし、学習課題については、学生の希望を取り入れて、個人、または、ペアで学習する。</p> <p>1. 論文の講読： 個人または、ペアで興味のある論文を検索し、講読する。</p> <p>2. 講読した論文のクリティーク： 個人または、ペアで講読した論文をクリティークし、さらにグループで議論する。そして、クリティークを論文形式でまとめる。 または、サブストラクションモデルを用いてクリティークをまとめる。</p> <p>3. クリティークした論文を基に計画書を作成： 計画書の作成に当たり、文献レビューを行い、計画書の作成に活用する。</p> <p>課題：①クリティーク論文、②研究計画書</p> <p>その他の事項および演習の詳細については、別途配布する。</p>											
成績評価の方法	<p>評価は、次の基準により指導教員によって行われる。</p> <table border="0"> <tr> <td>① 研究に取り組む姿勢</td> <td>④ 研究方法の適切性</td> </tr> <tr> <td>② 指導教官への態度</td> <td>⑤ レポートの論理性・明瞭性・簡潔性</td> </tr> <tr> <td>③ 研究課題の着眼点</td> <td>⑥ レポートの形式的条件の充足性</td> </tr> </table>						① 研究に取り組む姿勢	④ 研究方法の適切性	② 指導教官への態度	⑤ レポートの論理性・明瞭性・簡潔性	③ 研究課題の着眼点	⑥ レポートの形式的条件の充足性
① 研究に取り組む姿勢	④ 研究方法の適切性											
② 指導教官への態度	⑤ レポートの論理性・明瞭性・簡潔性											
③ 研究課題の着眼点	⑥ レポートの形式的条件の充足性											
テキスト	松木光子, 小笠原知枝 (編集): これからの研究看護—基礎と応用—, 廣川書店											
参考図書												
履修上の留意点												